

梨病害虫発生状況調査速報

兵庫県農業共済組合 豊岡事務所
豊岡農業改良普及センター
ＪＡたじま豊岡営農生活センター

調査日：令和５年６月２０日（火）

１ 調査項目

表－１

| 調査項目 | 黒斑病 | 黒星病 | 赤星病 | サビダニ類 | ハダニ類 | アブラムシ | 新梢の 止まり具合 | 果実径 |
|-------|-------|-------|-------|----------|------|----------|--------------|------|
| 調査標本数 | 100 葉 | 100 葉 | 100 葉 | 新梢 100 本 | 20 葉 | 新梢 100 本 | 新梢 50 本 | 20 果 |

２ 調査結果

（１）黒斑病（調査結果 ２～１８％）

黒斑病の発生が見られました。黒斑病は毎年の防除の積み重ねが大切です。梅雨時期の高温多湿の条件下で発生しやすくなります。園地での大発生が起こらないように、病斑のついた落葉の除去や早期防除を行いましょう。

（２）黒星病（調査結果 ０％）、赤星病（調査結果 ０％）

黒星病・赤星病の発生は見られませんでした。今後も発生状況に注意してください。

（３）ニセナシサビダニ（調査結果：５～１８％）

ニセナシサビダニが見られました。発生量が増えたら、早期に防除を行いましょう。６月上旬が防除適期でしたが、実施されましたか？

（４）ハダニ類（調査結果 ０．０５～０．１匹／葉）

ハダニ類が見られました。ハダニ類の特徴として、高温・乾燥条件で多発する傾向があります。今後は、気温が上昇し、発生量も増えます。ニセナシサビダニと一緒に防除しましょう。この時期の発生抑制が、今年の発生量を大きく左右します。一枚の葉に２匹以上見かけられるようになったら、すぐに防除しましょう。手散布の場合は、新梢（徒長枝）の先端にしっかり薬液がかかるようにしてください。

（５）アブラムシ類（調査結果 ０％）

アブラムシ類は見られませんでした。発生の程度によっては、葉が縮れる等、今後の生育に影響を与えるため、防除を徹底してください。

（６）新梢の止まり具合

表－２

| 調査地区 | | 新梢の止まり具合（％） | |
|------|-----|-------------|------|
| | | R5.6 | R4.6 |
| 豊岡 | 金剛寺 | 20.0 | 18.0 |
| 城崎 | 飯谷 | 36.0 | 16.0 |
| 竹野 | 濱須井 | 16.0 | 22.0 |
| 平均 | | 24.0 | 18.7 |

新梢の停止は、全体的に早くなっています。

薬剤散布等を行う場合は、「病害虫・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）」等を参考にしてください。

(7) 果実の生育について

表-3

| 調査地区 | | 平均果実径 (mm) | |
|------|-----|------------|------|
| | | R5.6 | R4.6 |
| 豊岡 | 金剛寺 | 41.0 | 39.6 |
| 城崎 | 飯谷 | 35.7 | 33.1 |
| 竹野 | 濱須井 | 38.0 | 36.0 |
| 平均 | | 38.2 | 36.2 |

果実の肥大は、どの園地でも昨年より早く、概ね順調に生育しています。

3 気象情報

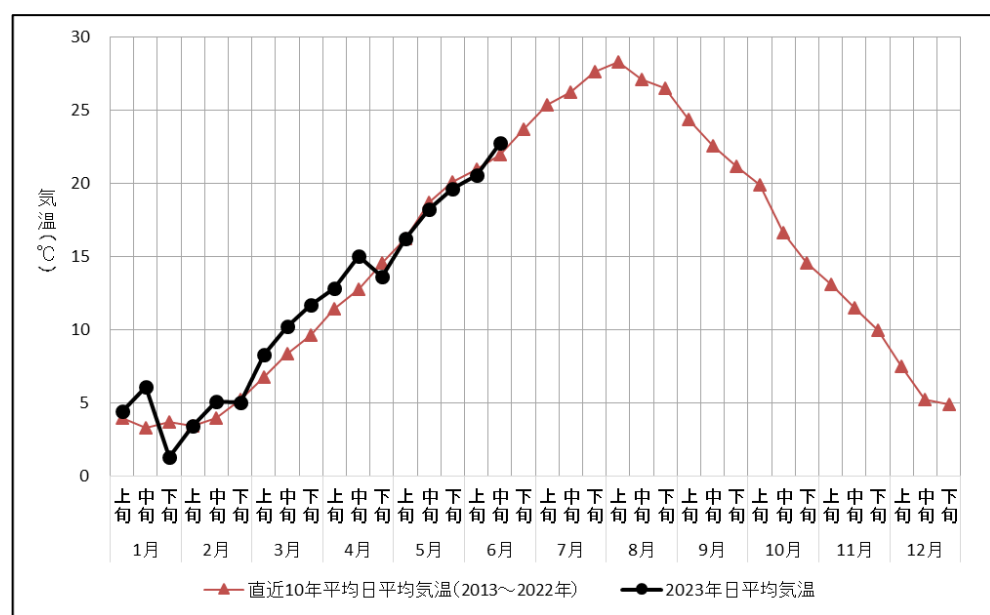


図-1 直近10年平均(2013~2022年)、2023年の日平均気温比較(豊岡)

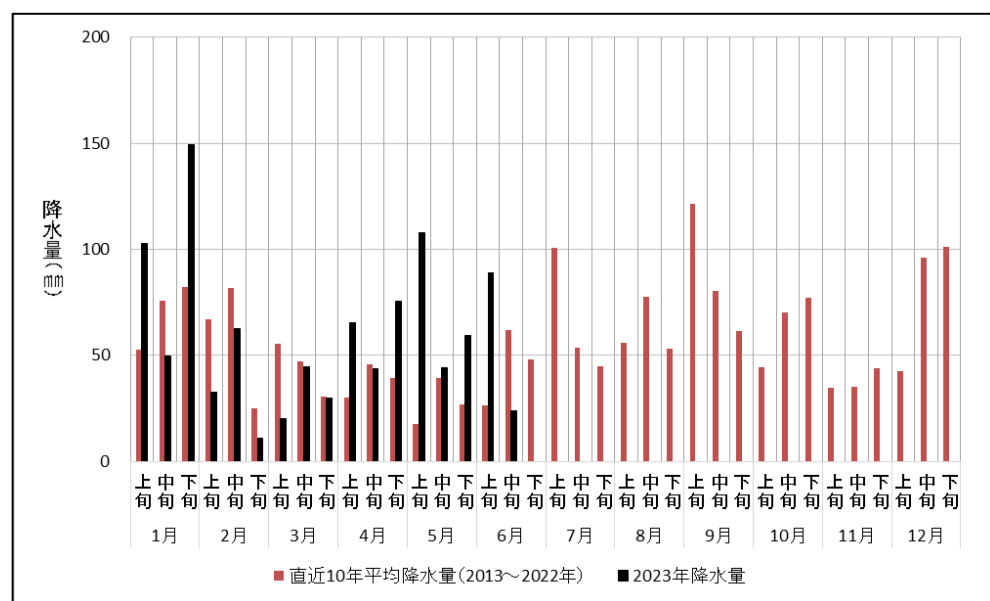


図-2 直近10年平均(2013~2022年)、2023年の降水量比較(豊岡)

～気象と生育について～

今年の近畿地方の梅雨入りは5月29日頃となり、平年より8日早い梅雨入りとなりました(平年:6月6日頃)。

5月上旬以降、気温は平年並みで推移していますが、降水量は平年並みか大きく上回る旬が続いています。

今後は短時間豪雨の発生など、急な気象の変化が懸念されるので、気象情報に十分注意してください。

兵庫県病害虫防除所による病害虫発生予報(6月13日発表)によると、黒斑病とハダニ類の発生量の予想が「やや多」となっています。発生状況には特に注意してください。

☆薬剤、防除の詳しいお問合せ・ご相談は・・・

豊岡農業改良普及センター (TEL 26-3705)
J A たじま豊岡営農生活センター (TEL 24-3641)

☆共済事故(病害虫、気象上の被害等)の発生は・・・

兵庫県農業共済組合 豊岡事務所 (TEL 42-4133)